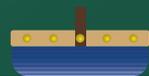


令和2年度 当初予算

市議会2月定例会において、令和2年度当初予算が原案どおり可決されました。今後の島田市の発展のために必要不可欠な事業や、「デジタル変革宣言」に基づく事業に対して重点的に予算配分しています。主要施策を着実に推進し、まちづくりを進めていきます。

☎財政課 ☎36-7123



施政方針

第2次島田市総合計画に沿った市政運営は、3年目を迎えました。将来像「笑顔あふれる 安心のまち 島田」、そしてそれを支える7つの政策を打ち出し、このまちに暮らす人の幸福度の向上の実現と、根底に流れる縮充の考えを市政運営の柱としています。また、3月に策定した「第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、第1期の課題などを踏まえ一歩踏み込んだ4つの基本目標を設定し、持続可能な

暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

今年は、新市誕生15周年にあたる節目の年です。このような節目の年にこそ、先人たちのこれまでの歩みを丁寧に紐解き、英知とし、これから歩いていく島田市の未来を想い描かねばなりません。次の世代に、夢や希望が持てる魅力あふれる島田市を引き継いでいくため、未来のまちに「つなげていくもの」を掲げ、推進していきます。

未来のまちのために「つなげていくもの」

環境 Environment

▶今日の島田市の発展は、水と緑といった自然環境に支えられてきました。都会と田舎のちょうど良い融合からなる住みよい生活環境は、私たちの毎日の生活を穏やかに包んでくれています。

世界的な共通認識である持続可能な開発目標「SDGs」に掲げられた環境との共生、そして低炭素社会を実現させるためにも、豊かな自然環境を守り、再生可能エネルギーを有効活用する取り組みを引き続き進めていきます。

まち City planning

▶全国の多くの自治体と同様に、島田市においても少子化による人口減少は避けられません。この状況を受け入れつつも、真に必要な施策・事業を選択し、資源を集中的に投下することで市民の幸福度向上を目指します。

住居や、商業・福祉などの生活サービス機能を地域拠点に誘導し、密度の視点で持続可能な都市づくりを目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」は、それを実現させる一つの大きな手段であり、「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」により、具体的に推進していきます。

Culture 文化

▶島田市は、先人たちから受け継いだ「大井川川越遺跡」「諏訪原城跡」といった世界に誇る文化財をはじめ、「蓬萊橋」「大井川鐵道」「島田大祭」「金谷茶まつり」といったオンラインワンの文化資源に恵まれています。

3月に策定した「島田市文化芸術推進計画」に基づき、地域の魅力ある文化や歴史を幅広く資源と捉え、観光やまちづくりに結び付けながら、島田市が誇る文化資源を確実に後世につなげていきます。

Collaboration 協働

▶まちづくりの主役は市民の皆さんであり、その原点は、市民の皆さんがこのまちを、地域を愛する思いにあります。その思いをより強く持てるように、シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成を目的に打ち出した「島田市緑茶化計画」を今年も推進していきます。

また、地域の課題を自分事として捉え、自ら課題解決を目指す取り組みが広がり始めています。市民1人ひとりの思いがつながり、大きな力となる。これからも市民の皆さんと行政の二人三脚で、まちづくりを進めていきます。

2 教育 Education

子育て・教育環境が充実するまちづくり



島田第四小学校完成イメージ

○島田第四小学校改築事業	18億 565万円
○認定こども園等施設型給付費	13億 8,610万円
○学校給食運営経費	6億 5,046万円
○放課後児童クラブ運営事業	2億 3,421万円
◎島田第一小学校改築事業	6,102万円
◎病児保育事業	1,063万円
◎コミュニティ・スクール運営経費	250万円
◎ネウボラ推進事業	133万円

3 経済 Economy

地域経済を力強くリードするまちづくり



ドローンプログラミング体験学習 (大津小学校)

○島田市観光協会補助金	9,290万円
○ふるさと寄附金推進事業	9,035万円
○ICT推進プロジェクト事業	6,650万円
○木材需要促進事業	2,529万円
◎蓬萊橋周辺整備事業	1,106万円
◎リノベーションまちづくり推進事業	820万円
◎まちなか商店リニューアル助成事業	300万円
◎高校生地元就職促進事業	75万円

令和2年度

主要事業

7 Seven Themes 7つのテーマ

令和2年度当初予算に計上した主要事業について、島田市総合計画で取り組む7つのテーマに分けて紹介します。

◎は、令和2年度の新規事業です。

1 安全 Safety

安全ですこやかに暮らせるまちづくり



新病院「島田市立総合医療センター」建設現場

○新病院建設事業繰出金	32億 9,216万円
○消防救急広域事務委託費	11億 2,457万円
○養護老人ホームぎんもくせい管理運営経費	1億 3,515万円
◎介護サービス提供体制整備促進事業費補助金	8,985万円
○消防自動車更新事業	4,188万円
◎緊急輸送路等沿道建築物耐震化事業	1,200万円
◎就労準備支援事業	700万円
◎認知症高齢者等個人賠償責任保険事業	20万円

6 基盤 Infrastructure

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり



堤間地区工業用地建設現場

- ふじのくにフロンティア推進区域整備事業 4億 8,399万円
- 島竹下線改良事業 3億 6,400万円
- 大井川流域観光拠点整備事業 2億 1,527万円
- 橋りょう長寿命化修繕・耐震事業 1億 9,900万円
- 六合駅前広場整備事業 1億 3,615万円
- 空港周辺プロジェクト推進事業 9,209万円
- ◎道路照明灯 LED 化事業 505万円
- ◎公園灯 LED 化事業 370万円

4 環境 Environment

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり



コミュニティバス (JR 島田駅北口)

- クリーンセンター長寿命化事業 10億 962万円
- ガス化溶融施設管理運営経費 9億 280万円
- コミュニティバス運行管理経費 2億 8,359万円
- リサイクル事業 2億 2,100万円
- 旧清掃センター解体事業 1億 6,542万円
- 合併処理浄化槽設置助成事業 1億 564万円
- 森林環境整備促進事業 981万円
- ◎デマンドタクシー実証実験事業 498万円

7 経営 Management

人口減少社会に挑戦する経営改革



しまだ未来カフェ

- 市役所新庁舎整備事業 4億 2,600万円
- 個人番号カード交付事業 6,629万円
- デジタルマーケティング施策推進事業 6,289万円
- 自治会活動支援事業 3,463万円
- 旧金谷庁舎跡地利活用事業 2,067万円
- 電子自治体推進経費 904万円
- 協働のまちづくり推進事業 670万円
- ◎第2次島田市総合計画後期基本計画策定事業 85万円

5 文化 Culture

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり



しまだきものさんぽの会 (川越街道)

- ◎プラザおおり施設改修事業 2億 5,995万円
- 文化施設管理運営経費 1億 6,006万円
- 博物館施設管理運営経費 4,137万円
- 諏訪原城跡整備事業 1,568万円
- 移住・定住促進事業 1,167万円
- シティプロモーション推進事業 1,084万円
- ◎諏訪原城跡プロモーション事業 145万円
- 川越街道賑わい創出事業 100万円

458億8,700万円

市の会計の構成

島田市の会計は、一般会計と特別会計、そして企業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済、教育など市の全般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業など6つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業会計で、現在は水道事業、病院事業、公共下水道事業の3つの企業会計を設けています。

一般会計当初予算

【歳出】

総務費は、市役所新庁舎整備事業の増などにより、前年度比9億4091万円(23・0%)の増額となっています。

また衛生費は、新病院建設事業に係る出資金の増などにより、前年度比25億4731万円(42・3%)の増額となっています。

一方、商工費は、プレミアム付商品券事業の減などにより、前年度比4億6962万円(43・6%)の減額となっています。

会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	458億8,700万円	7.9%
II 特別会計	204億1,056万円	△4.8%
国民健康保険事業	94億9,196万円	3.3%
土地取得事業	7億5,967万円	2.7%
休日急患診療事業	2,581万円	48.0%
介護保険事業	87億8,770万円	4.0%
介護サービス事業	7,036万円	△12.2%
後期高齢者医療事業	12億7,506万円	4.8%
III 企業会計	318億2,798万円	51.1%
水道事業	25億3,614万円	37.6%
病院事業	278億8,618万円	45.1%
公共下水道事業	14億566万円	皆増
合計	981億2,554万円	15.4%

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
消費的経費 57.9%	人件費	13.7%
	物件費	17.3%
	扶助費	18.1%
	補助費等	8.5%
	維持補修費	0.3%
投資的経費 17.4%	普通建設事業費	17.3%
	災害復旧事業費	0.1%
	公債費	9.6%
その他の経費 24.6%	繰出金	5.0%
	投資及び出資金等	10.0%
	予備費 0.1%	0.1%

市民1人当たりの歳出予算は

46万7,176円

※令和2年2月29日現在の人口9万8,222人で算出。

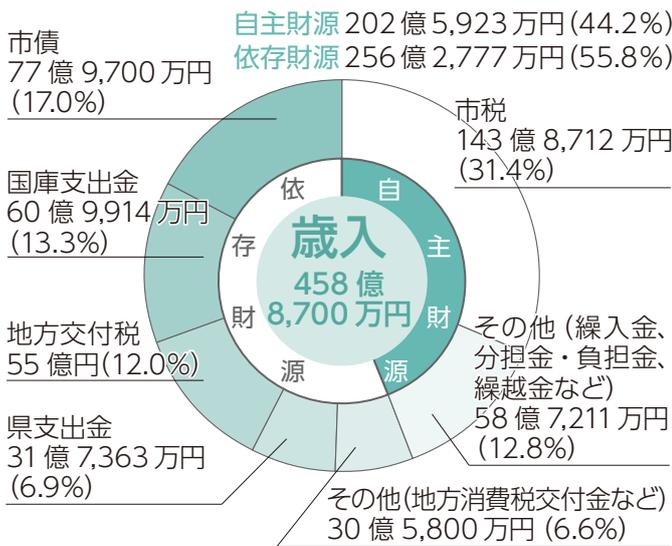
令和2年度 一般会計当初予算

区分	残高見込額		増減率
	R1年度末	R2年度末	
一般会計	401億 8,124万円	438億 6,634万円	9.2%
水道事業	30億 1,772万円	33億 5,688万円	11.2%
病院事業	66億 6,361万円	156億 611万円	134.2%
公共下水道事業	37億 9,434万円	36億 1,906万円	△4.6%
合計	536億 5,691万円	664億 4,839万円	23.8%

※数値は端数処理で調整。

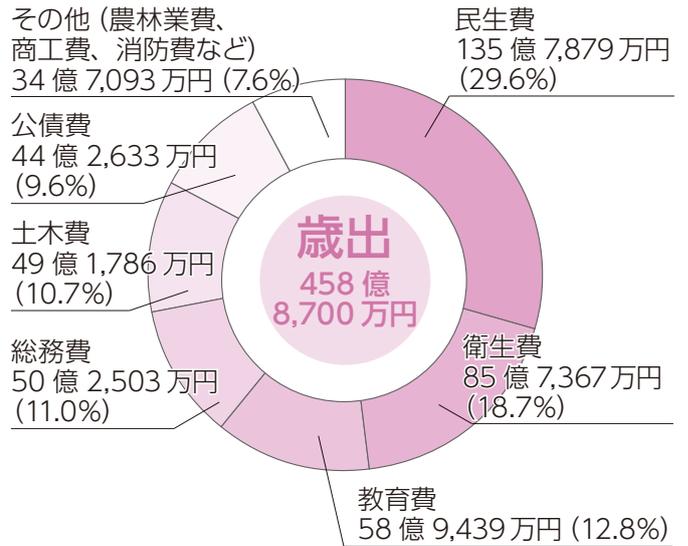
〔歳入〕
 自主財源では、前年度比で見ると、寄附金がふるさと寄附金の増などにより799.4万円(79.6%)の増額、さらに、繰入金が新病院建設基金繰入金の増などにより8億964.9万円(34.5%)の増額となりました。
 一方、分担金および負担金が民間保育所入園者負担金の減などにより1億846.9万円(59.1%)の減額、さらに、諸収入がプレミアムの付商品券売払収入の減などにより2億965.0万円(22.4%)の減額となり、自主財源比率は前年度比2.2ポイント低下しました。
 依存財源では、市債が衛生債、教育債などの借入れの増により、17億888.0万円(29.8%)の増額となりました。

歳入の内訳 (構成比：%)



※数値は端数処理で調整。

歳出の内訳 (構成比：%)



※数値は端数処理で調整。

用語の解説

〔歳出の部(性質別分類)〕

物件費／施設の保守管理および一般事務
 扶助費／生活扶助、医療扶助など
 普通建設事業費／道路の新設、改良や施設の新築・増築など
 繰入金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など

〔歳出の部(目的別分類)〕

民生費／児童、高齢者、障害者福祉など
 衛生費／保健事業やごみ処理など
 教育費／学校教育や社会教育など
 総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理など

土木費／道路・河川・公園の整備、市営住宅の管理など
 公債費／市債の返済金と利子の支払い

〔歳入の部〕

市税／市民税など市に納められた税金
 繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
 分担金・負担金／保育所入園者の負担金など
 国庫(県)支出金／国(県)からの補助金、負担金など
 地方交付税／市町村の実状に合わせ国から交付されるもの
 市債／市が借り入れるお金